

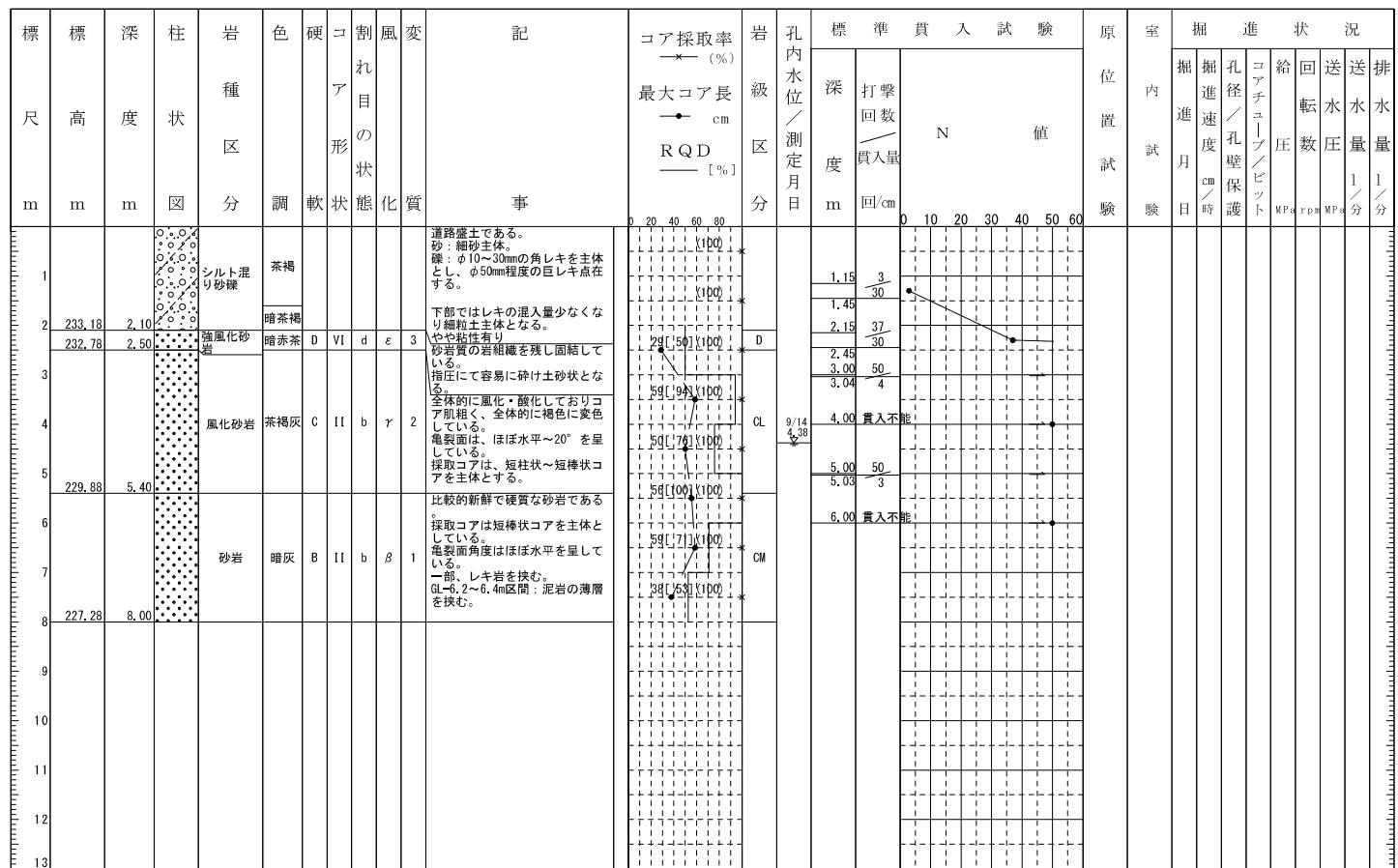
ボーリング柱状図

調査名 主要地方道 庄原作木線交通安全施設整備事業に伴う測量・地質調査・設計業務委託(交付金)

ボーリングNo. 5 2 3 2 2 6 5 6 6 5 6

シートNo.

ボーリング名	Bor No.1	調査位置	広島県三次市君田町石原				北緯	34° 52' 52.4000"
発注機関	広島県北部建設事務所			調査期間	平成28年 9月13日～平成28年 9月14日			東経 132° 50' 02.2000"
調査業者名				主任技師			現代理人	コ鑑定者
孔口標高	DL 235.28m	角度	180° 上 下 0°	方位 90° 0° 向 南 北 東 西 180°	地盤勾配 0° 270° 90° 90° 180° 南 北 0° 90° 0° 90° 180° 南	使用機種 試錐機 エンジン	一落下用具 (株)ワイビーエム製 YEM-05型 ヤンマーNFD-7	ハンマ 半自動型 (株)ワイヤー製 GP-5
総掘進長	8.00m							



＜凡例＞ ヨア硬軟区分判定表

記号	硬 軟 区 分
A	極硬、ハンマーで容易に割れない。
B	硬、ハンマーで金属音。
C	中硬、ハンマーで容易に割れる。
D	軟、ハンマーで口ロボロ口に砕ける。
E	極軟、マサ状、粘土状。

風化区分表

記号	風化の程度
α	非常に新鮮である。
β	新鮮である。層理面、劈開面に沿ってわずかに変色があり割れ易い。
γ	弱風化している。層理面、劈開に沿って風化している。
δ	風化している。岩巖まで風化している。ハンマーで簡単に崩せる。
ϵ	強風化している。褐色化し、指先で簡単に壊すことができる。

变音区分表

記号	資本区分	資本状況
1	非貿易	肉眼的に資本試験を認められないもの。
2	弱資本	原組織を完全に廃し、資本額が低いもの。 または、非貿易部の割合が肉眼で50%以上のもの。
3	中変資	肉眼で変資が進んでるとい判断できるが原組織を明らかに せず、原証定が付属なもの。 または、非貿易部が最ものみおよび網状変資部。
4	強資本	網状資本部、書片資本部で完全塗換され、原証相繩を全く ～ほとんど残さないもの。

コア割れ目状態判定表

記号	割れ目状態区分
a	密着している。あるいは分離しているが割れ目沿いの風化・変質は認められない。
b	割れ目沿いの風化・変質は認められるが、岩片はほとんど風化・変質していない。
c	割れ目沿いの風化・変質は認められ軟質となっている。
d	割れ目として認識できない角礫状・砂状・粘土状コア。

備 考

区分判定表

コア形

記号	模 式 図	コア形状区分判定表	
		コア形状	説明
1		長さが50cm以上の棒状コア。	
2		長さが50~15cmの棒状コア。	
3		長さが15~5cmの棒状~片状コア。	
4		長さが5cm以下の棒状~片状コアでかつコアの外周の一部が認められるもの。	
5		主として角礫状のもの。	
6		主として砂状のもの。	
7		主として粘土状のもの。	
8		コアの採取が出来ないもの。スライムも含む。(記事欄に理由を書く)	